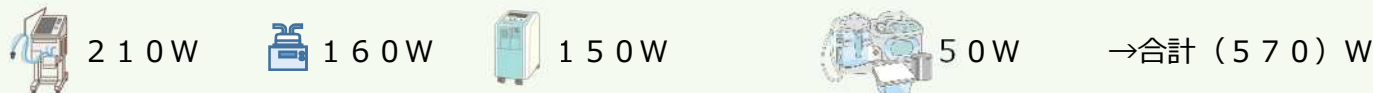


# 様の電源チェックシート

- ◆このチェックシートは、ご本人やご家族、支援者が、平時に停電時の備えを強化し、安心して療養生活を送るための助けとなるように作成しました。
  - ◆電源の情報を整理しておくことで、停電で困った時に助けを求める際にも役立ちます。
  - ◆非常用電源（蓄電池など）を準備する際の参考としてください。
  - ◆医療機器のほかにも、通信機器や照明、冷暖房などにも使用する可能性を考慮しておきましょう。
- ◎関係者同士で共有してください。平時から使い方を練習しておきましょう。

## STEP ① どのくらいの電源が必要なのか計算してみましょう

例) 人工呼吸器 + 加湿加温機 + 酸素濃縮器 (1ℓ/分) + 吸引器 を使う場合



例) 酸素濃縮器 (1ℓ/分) + 持続吸引器 + 吸引器 を使う場合



※消費電力は各社公表資料等から作成していますが、あくまで目安であるため、製品の詳細については取扱説明書等でご確認ください。  
 ※吸引器は、実際には常時ONではなく1回5分ずつ程度の使用と考えられますが、吸引回数が頻回である場合も考慮し計算に含めます。

## お使いの機器について、整理してみましょう

機器	消費電力	備考 (停電時の作動時間、代替手段等)
人工呼吸器 機種名 [ ]	W	内部 (本体) バッテリー作動時間 ( 時間) + 外部バッテリー作動時間 ( 時間 × 個 = 時間) 合計 時間使用可能 バッグバルブマスクの準備 (アンビューバッグ®など)
加湿加温器	W	人工鼻 (あり・なし)
吸引器	W	バッテリー作動時間 ( 分) 電源のいない予備機 (足踏み式など) (あり・なし)
酸素濃縮器	W	酸素流量 ( ℓ/h) × ( 時間) 内部バッテリー作動時間 ( 時間) 酸素ボンベ ( ℓ) × ( 本) → ( ) 時間 合計 時間使用可能
電動ベッド	W	手動ハンドル (あり・なし)
エアマット	W	停電しても空気が抜けないタイプか
( )	W	

合計 ( ) W

この消費電力を余裕を持ってカバーできることが大切です。

### 医療機器以外の機器 (目安)

LED照明 (10畳用3台) 100W  
懐中電灯 (乾電池等) の用意も

- + 扇風機 150W
- エアコン (約10畳用) 700W
- スマートフォン充電 15W
- 液晶テレビ 140W

では、どんな非常用電源を選べばよいのか  
選び方を確認しましょう。裏面STEP2へ

神奈川県平塚保健福祉事務所 保健予防課 保健師 (難病担当)  
保健福祉課 保健師 (医療的ケア児担当)

住所 平塚市豊原町6-21 電話 0463-32-0130 平日8:30~17:15

監修: 神奈川工科大学 地域連携災害ケア研究センター

2024年10月版

## STEP ② 非常用電源を備えましょう



下記のような条件を参考に、ご本人やご家族、支援者が取り扱いやすいものを選びましょう。  
(すべてを満たさなければならないということではありません)

### 蓄電池



- (純) 正弦波 (家庭のコンセントと同等の電源品質) の出るもの
- 定格出力の目安: **1500W以上**
- 50Hz** 対応のもの (関東地方)
- ACコンセントが3口以上ついているもの
- 車いすやバギーに載るサイズのもの

「パススルー型(※1)」、「UPS/EPS型(※2)」、手動で接続するタイプ等の種類がありますが、多くの人工呼吸器は内部バッテリーにより停電になってもすぐに停止することはありませんので、ご確認の上、予算に応じて選んでください。

- ※1 普段からバッテリーに繋いでおき、充電しながらバッテリーから電気が使える機能を備えたもの
- ※2 普段からバッテリーに繋いだ状態で電気を使い、停電時には瞬時にバッテリーから給電される機能を備えたもの

「リン酸鉄リチウムイオンバッテリー」がおすすめですが、従来の「リチウムイオン(三元系、NCA系)バッテリー」でも、関東で屋内使用であれば大きな問題はありません。

$$\begin{aligned} & \text{電池容量 ( Wh )} \div \text{医療機器の消費電力の合計 ( W )} \\ & = \text{蓄電池の持続時間 ( 時間 ( h ) )} \times 0.7 \text{ (変換効率 (目安))} \\ & = \text{実際に使えると考えられる時間 ( 時間 ( h ) )} \end{aligned}$$

**蓄電池自体のフル充電にかかる時間 (約 時間)** ※急速充電ができるタイプも  
(蓄電池の充電にかかる時間の間、医療機器に給電できる他の手段を考えておきましょう)

★定期的に電池残量の確認をして、充電しておきましょう。

### 電気自動車



- 100V電源用コンセントがあること**
- 定格出力の目安: **1500W以上**

PHEV (プラグインハイブリッド車) がおすすめです。  
他にも、EV、FCV等の種類があります (性能、メーカーにより)。

人工呼吸器の外部バッテリーの充電、蓄電池の充電が可能ですが、充電時間が長時間になる場合があるので、事前に確認しておきましょう。  
酸素濃縮器の場合、流量 5 l / 分程度以下にしてください。

### ◇安全にお使いいただくために◇

- 同時に複数の機器を起動しないようにしましょう。(起動時には瞬間的な消費電力増が起こります)
- 使用時にカバーを掛けないでください。(排熱不足による過熱が生じます)
- コードリールはすべて引き出して使いましょう。
- たこ足配線にならないようにしましょう。
- 蓄電池は、定期的に充電、使用して劣化を防ぎましょう。
- 電池残量が無くなったときに、充電させてもらえるところを見つけておきましょう。→
- 非常用電源から何時間ほど電気を供給可能なのか、余裕を持った計算をしておきましょう。  
また発災時に救助に来た方に「あと〇時間持ちます」など、伝える練習もしておきましょう。



◆**停電したら、こうする! (行動計画)** ◆ (例: まずは外部バッテリーを使う。復旧しなければ蓄電池につなげて動かす。  
○時間経っても復旧しなければ〇〇〇へ電源を借りに行く。)

- ① \_\_\_\_\_
- ② \_\_\_\_\_